

学習指導要領		都立新宿山吹高校 学カスタンダード
<p>現代社会の諸問題</p>	<p>ア 現代社会の諸問題と青年期と自己の形成生涯における青年期の意義を理解させ、自己実現と職業生活、社会参加、伝統や文化に触れながら自己形成の課題を考察させ、現代社会における青年の生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>イ 現代の民主政治と政治参加の意義 基本的人権の保障、国民主権、平和主義について理解を深めさせ、天皇の地位と役割、議会制民主主義と権力分立などの在り方について認識を深める。</p>	<p>現代社会の諸問題として、環境問題、情報社会、高齢社会といった山積する問題や課題について、数値的なデータおよび資料も挙げながら、関心と理解と問題意識をもたす。</p> <p>また、そういった社会の中に生きる青年の青年期についての諸概念、「第二の誕生」、反抗期、と心理的離乳、モラトリアムといった心理学的見地から用語について正確かつ的確に説明できるようにする。</p> <p>「法の支配」、立憲主義、三権分立といった基本的な諸原理を世界史 AB とも関連づけて歴史のおよび原理的観点からも、説明できるようにする。</p> <p>また、各国が基本的には、既述した原則に則りながらも、多様な仕組みをとっていること知り、その「長所」と「短所」および国柄の視点からも考察させる。</p>

学習指導要領		都立新宿山吹高校 学カスタンダード
現代の経済	<p>ウ 個人の尊重と法の支配 個人の尊重を基礎として、国民の権利の保障、法の支配と、司法制度の在り方について日理解を深めさせる。</p> <p>エ. 現代の経済社会と経済活動の在り方 市場経済の機能と限界、政府の役割について、経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。</p>	<p>基本的人権については、それに自由権、社会権、請求権、参政権等の基本的な類型化をはかっていく。また社会権に関しては、日本国憲法第 25 条、さらにモデルとなったワイマール憲法などにも言及する。発展的な内容として、日本でも始まった裁判員制度について説明する。同時にアメリカ等の陪審制、ヨーロッパの参審制とも比較、検証させる。また、今日、裁判員制度にみられる高等裁判所での「逆転判決」についても、具体的な時事的な事例についても理解させる。</p> <p>商法に基づく株式会社の基本的なメカニズムについて説明する。株主、株主総会、配当、資本金、取締役といった仕組みと構造を正確に理解させる。</p>

学習指導要領		都立新宿山吹高校 学カスタンダード
<p>オ. 経済成長や景気変動と国民福祉の向上の関連について考察させる。また、雇用、労働問題、社会保障について理解を深めさせる。</p>	<p>経済の一体化から起こっている多くの課題について、具体的事例をあげて説明する。すなわち、そこから派生する金融危機、現在の経済の時事問題についても説明し、経済・金融システムの今日的課題について理解させる。また、今日の金融政策と、その動向、および「実体経済」との乖離についても検討する。また、雇用問題についても、今日の労働法改正の動向と関連づけて説明できるようにする。</p>	
<p>カ. 国際社会の動向と日本の果たすべき役割 グローバル化が進展する国際社会における政治や経済の動向に触れながら、人権、国家主権、領土に関する国際法の意義、人種・民族問題、核兵器と軍縮問題、我が国の安全保障と防衛及び国際貢献について理解させる</p>	<p>主権国家と今日の国連を中心とした基本的な構造についての理解を深める。また、国連の安全保障理事会をはじめとする権限と、その活動の現状と課題についての考察を深める。</p> <p>また、国際社会における EU などの国家統合・通貨統合の動向や問題点、また、そのガバナンスの現状についても検討する。</p> <p>また日本の国際貢献の現状と方向性についての理解を深める。また、各地で起こっている国際紛争や独立運動、あるいは民族主義の高まり等について、その本質と動向を認識させ、理解させる。</p>	